

シリーズ景観 81

日本一のしいの木

(八雲町桑並)

No.314

『みんなで残したい松江の景観400選集』から
景観審議会が特にお薦めする景観

「鬱蒼と茂る森の中(志多備神社境内)にある大木スタジイはとても神秘的です。四方に張った枝が雄大で、圧倒されます。」と推薦していただきました。このスタジイ(シイノキ)は、古くからこの地区の総荒神が宿る木として大切に守り続けられてきました。「八雲村の祭祀習俗(昭和56年3月、八雲村教育委員会)」にも「椎の大木は樹高約20m、胸高周11m、樹齢千年といわれ、その周りに四方6mの荒垣をめぐらし、毎年11月9日に祭りをする。祭りにあたっては桑並上中下の3組が1組ずつ交替で奉仕し、鬘蛇をつくって盛大に祀る。総荒神は、地域共同の守護神として祀るものをいい、荒神

は守護神として祀る祭祀の規模の大小でさまざまなものがある。祭祀施設はおおむね神木。かなりの大木で樹種には椎が多い。」と記載があります。鬘蛇に巻かれた靈験あらたかな御神木は、古来から受け継がれた伝統と出雲文化を感じさせます。境内には、この県指定文化財のスタジイの他に、市指定文化財のスタジイもあります。

「八雲町 まち歩きマップ」では、散策コース(巨木の谷通りD桑並コース)の中でパワースポットとして紹介しています。市ホームページで見ることが出来ますので、「松江市まち歩きマップ」で検索してください。

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。



県指定文化財のスタジイ



市指定文化財のスタジイ



「八雲町まち歩きマップ」
(八雲町お宝発掘プロジェクト発行)

「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。

【問い合わせ】
まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選